

会よりのお知らせ

○ 第110回幹事会

昭和58年3月28日(月)に東京虎の門、第9森ビルにおいて開催され、57年度事業報告、58年度事業計画、57年度決算報告、58年度予算案について、および「光学」編集、講演会、講習会の計画などについて報告と審議が行なわれた。また、F委員会答申(第1次)が報告された。

○ 昭和58年度通常総会

昭和58年度通常総会は昭和58年4月4日(月)に千葉市、千葉大学において開催され、幹事長挨拶に続き、下記の事業報告、事業計画、決算報告、予算案などが提出され、承認された。引き続いて「光学」前編集局長原芳郎氏に感謝状が贈られた。また、光学論文賞授賞式が行なわれ、田中一夫氏(キャノン)が受賞された。

○ 昭和57年度事業報告

1. 刊行物

「光学」 Vol. 11 No. 1~6 (総頁数 681)
地方編集 No. 3 (北海道)

2. 講演会、講習会

- 1月22日 第15回光学五学会関西支部連合講演会
「光とエレクトロニクス」
- 2月3~5日 第10回冬期講習会
「エレクトロ・オプティクスの基礎」
- 5月25日 昭和57年度春季講演会
- 6月22, 23日 第7回光学シンポジウム
「光学とエレクトロニクス」
- 7月1, 2日 第28回光学四学会連合講演会
「人間社会における光の応用とその基盤」
- 8月18~20日 第20回サマーセミナー
「光学の先端技術を探る」
- 12月7, 8日 第13回画像工学コンファレンス
(電気学会等他学会と共催)

3. 見学会

5月25日 東京大学東京天文台

4. 研究グループ

生理光学研究グループ

ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ

微小光学研究グループ

光計測研究グループ

5. 幹事会、委員会

定例幹事会 3回

常任幹事会 5回

編集委員会 6回

文献抄録委員会 6回

F委員会 5回

6. 会員数(昭和58年1月17日現在)

A会員 667名 B会員 521名

賛助会員 46社 110口

○ 昭和58年度事業計画

1. 刊行物

「光学」 Vol. 12 No. 1~6
地方編集 No. 3 (東北)

2. 講演会、講習会

- 2月4日 第16回光学五学会関西支部連合講演会
「最近の画像技術と光計測」
- 5月27日 昭和58年度春季講演会
- 6月20日 第8回光学シンポジウム
「光学設計、加工、およびオプトエレクトロニクス」
- 7月6日 第29回光学四学会連合講演会
「光に関連する計測の最近の話題」
- 8月24~26日 第21回サマーセミナー
「新しい光学技術と半導体レーザー」
- 10月28日 昭和58年度関西講演会
- 12月8, 9日 第14回画像工学コンファレンス
(電子通信学会等他学会と共催)

3. 見学会

5月27日 航空宇宙技術研究所

4. 研究グループ

生理光学研究グループ

ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ

微小光学研究グループ

光計測研究グループ

5. 幹事会、委員会

定例幹事会 3回

常任幹事会 5回

編集委員会 6回

文献抄録委員会 6回

○ 昭和 57 年度会計決算報告

(収入の部)

昭和 58 年 4 月 4 日

大 科 目	中 科 目	57年度予算 (千円)	1~12月実績 (円)	備 考
会 費 収 入	分科会会費	4,730	5,633,455	未収会費597,700円含む
事 業 収 入	講習会収入	5,500	5,668,090*	*「冬期講習会2,412,055円 光学シンポジウム287,500円 サマーセミナー2,968,535円
	研究会収入	0	0	
	別刷代収入	300	592,900	
	計	5,800	6,260,990	
雑 収 入		150	726,341	バックナンバー, 利息, コピー代
そ の 他 収 入	広告料収入	1,860	1,188,600	
回収不能引当金戻入		0	0	
講習会引当金戻入		3,000	3,000,000	
維持引当金戻入		3,737	3,738,194	論文賞基金戻入65,606円含む
一般会計補助受入収入	賛助会費還元金	3,424	3,456,000	40,000円×0.8×108口
	給与補助額	2,943	2,943,000	学会担当者負担分
合 計		25,644	26,946,580	

(支出の部)

大 科 目	中 科 目	57年度予算 (千円)	1~12月実績 (円)	備 考
管 理 費	給料手当	2,943	2,961,080	学会担当者分 アルバイター手当18,080円
	諸印刷費	70	36,621	
	会議費	50	170,950	論文賞71,450円 幹事会99,500円
	学会事務費	1,080	737,000	500円×1,122名+176,000円
	諸経費	500	983,085	通信費109,845円 消耗品費1,600円 交通費640,755円 借室料94,000円 雑費72,950円 振替手数料63,935円
	計	4,643	4,888,736	
講習会事業費	給料手当	150	44,000	冬 期 講 習 会 24,000
	諸印刷費	1,900	1,783,177	サ マ ー セ ミ ナ ー 993,897
	会議費	120	834,190	光 学 シ ン ポ ジ ウ ム 20,000
	諸経費	3,150	2,431,410	春 講 演 季 会 0
	学会事務費	100	79,090	705,280 560,130 174,692 15,288
	計	5,420	5,171,867	1,104,400 43,720 35,370 0
会誌出版事業費	給料手当	720	840,000	60,000円×6月+80,000円×6月
	諸印刷費	7,600	8,168,425	10巻6号~11巻5号
	諸経費	1,070	1,064,448	交通費397,960円 謝礼金498,630円
	発送通信費	1,650	1,304,285	会議費105,658円 借室料21,600円他
	計	11,040	11,377,158	10巻6号~11巻5号

その他事業費	研究班補助金	160	120,000	{ホログラフィック・ディスプレイ, 微小光学, 光計測
	論文賞経費	160	75,000	
	その他	0	7,500	光学五学会関西支部連合分担金
	計	320	202,500	
回収不能引当金戻入		0	537,930	
講習会引当金戻入		3,080	3,502,703	
分科会維持引当金戻入		1,141	1,265,686	
合計		25,644	26,946,580	

○ 昭和 58 年度会計予算案

(収入の部)

昭和 57 年 10 月 26 日 応用物理学会提出

大科目	中科目	金額(千円)	備考
会費収入	分科会会費	5,022	4.3千円×1,168名 未収会費計上額800千円
事業収入	講習会収入	3,180*	*「光学シンポジウム180千円 サマーセミナー2,700千円 テキスト売上, 他300千円
	研究会収入	0	
	別刷代収入	400	
	計	3,580	
雑収入		150	利息100千円, バックナンバー50千円
その他収入	広告料収入	1,200	12巻1号~6号, 200千円×6
回収不能引当金戻入		300	
講習会引当金戻入		3,000	
維持引当金戻入		1,100	
一般会計補助 受入収入	賛助会費還元金	3,520	40千円×0.8×110口
	給与補助額	3,023	学会担当者負担分
合計		20,895	

(支出の部)

大科目	中科目	金額(千円)	備考		
管理費	給料手当	3,023	学会担当者負担分		
	諸印刷費	70	幹事選挙投票用紙20千円, 入会の勧め50千円		
	会議費	50			
	学会事務費	728	{事務手数料0.5千円×1,168=584千円 追加事務費144千円		
	諸経費	660			
	計	4,531			
講習会事業費	給料手当	10	サマーセミナー	光学シンポジウム	春季講演会
	諸印刷費	1,030	0	10	0
	会議費	680	950	80	0
	諸経費	1,130	680	0	0
	学会事務費	37	1,040	60	30
		計	2,887	37	0

会誌出版事業費	給料手当	1,260	製作手数料, 校正料 210千円×6 12巻1～6号 790千円×6
	諸印刷費	4,740	
	諸経費	2,738	
	発送通信費	720	
	計	9,458	
その他事業費		160	40千円×4グループ
回収不能引当金戻入		1,000	
講習会引当金戻入		1,500	
分科会維持引当金戻入		1,359	
合計		20,895	

○ 保有備品

スライドプロジェクター 2台
スクリーン 1台
ベル 1個
書棚 1架
賞状盆 1枚

○ 第8回光学シンポジウムのお知らせ

前号でお知らせしたとおり、「光学設計, 加工, およびオプトエレクトロニクス」のテーマで, 6月20日(月)に東京六本木, 東京大学生産技術研究所において開催されます。多数の皆様が参加されるようお願いいたします。

○ 第29回光学四学会連合講演会のお知らせ

「光に関連する計測の最近の話題」のテーマで, 7月6日(水)に東京お茶の水, 日本化学会講堂において開催されます。詳細は本号綴込みのプログラムをご覧くださいのうえ, お早目にお申込みください。

○ 第21回サマーセミナーのお知らせ

前号でお知らせしたとおり、「新しい光学技術と半導体レーザー」のテーマで, 8月24日(水), 25日(木), 26日(金)に長野県下諏訪町, 山王閣において開催されます。詳細は前号綴込みの案内をご覧くださいのうえ, 至急お申込みください。

○ 生理光学研究会“特別講演会”のお知らせ

日時: 昭和58年6月23日(木) 13:30~16:00
場所: 東京工業大学本館4階第一会議室
東京都目黒区大岡山 2-12-1

(東京急行目蒲線 大岡山駅下車)

演題: 1. 開眼手術後の視空間認知の成立 (60分)
鳥居修晃 (東大教養学部心理学教室)
2. The Development of Acuity (60分)
Davida Y. Teller (Dept. of Psychology, Univ. of Washington)

参加費: 無料

問合先: 〒305 茨城県筑波郡谷田部町東 1-1-4
製品科学研究所人間工学部 斎田真也
電話 0298-54-6750

○ ホログラフィック・ディスプレイ研究会の報告

● 第19回研究会

日時: 昭和58年2月25日(金) 14:00~17:00
場所: 東京大学生産技術研究所

演題: 1. ホログラム撮影法のアイデア
岸本 康 (東大生研)
2. 凹面鏡を用いたワンストップ・レインボウ・ホログラム
山崎 均, 木田捷夫, 辻内順平
(東工大像情報)

3. 超微粒子現像処方の特性とリップマン・ホログラムへの適用
池上皓治 (沼津高専)

参加者: 約40名

○ 微小光学研究会の報告と予定

● 第8回研究会

日時: 昭和58年4月18日(月) 13:30~17:00
場所: 東京工業大学長津田キャンパス
テーマ: OFC '83 会議報告およびマイクロオプティックスの最近の話題
演題: 1. OFC '83 からのトピックス

左貝潤一 (電電公社)

2. 平行光型および集光型振動測定用オプティカルプローブの比較 上羽貞行 (東工大)
3. 微小光学デバイスの作成
—電界移入法におけるドーパントの分布—
岡本則久 (諏訪精工舎)
4. 2段階電界印加イオン交換法による光導波路 奥田栄次 (日本板硝子)
5. コンパクトオーディオディスク用ピックアップ光学系 米沢成二 (日立中研)
6. 見学 光学トンネル, ホログラフィ, 微小光学デバイス等

参加者: 61名

●第9回研究会のお知らせ

日時: 昭和58年7月27日 (水) 13:00~17:00

場所: 東京大学生産技術研究所第一会議室
(東京都港区六本木 7-22-1)

テーマ: 微小光学の基礎

演題: 1. 国際会議報告

- 1) '83 CLEO 吉住恵一 (松下)
- 2) 欧州 LAN, IOOC, GIOIS
西沢紘一 (光協会)

2. 講演

- 1) 微小光学の基礎理論 (50分)
伊賀健一 (東工大)
- 2) 不均質レンズ系の三次収差論 (30分)
南 節雄 (キャノン)
- 3) 分布屈折率媒質中の新しい光路長計算法 (30分) 荒井則一 (小西六)
- 4) レンズビームガイドと分布屈折率媒質に対する正弦条件 (30分)
藤井陽一 (東大)

3. 見学 レーザ顕微鏡他

資料費: 1,000円 (お茶代を含む)

問合先: 〒157 東京都世田谷区千歳台 6-16-1
青山学院大学理工学部 庄野裕夫
電話 03-307-2888 内線 244

○光計測研究会の報告と予定

●第8回研究会

日時: 昭和58年4月18日 (月) 14:30~17:00

場所: 機械技術研究所第一会議室

演題: 1. ロボットの視覚センサ

谷江和雄 (機械技研)

2. 見学 視覚センサ, 光学的な交通流計測, レンズ試験機, 血流計測, 直線計等

参加者: 30名

●第9回研究会のお知らせ

日時: 昭和58年7月11日 (月) 14:00~17:00

場所: 理化学研究所レーザー棟会議室

(東武東上線和市駅下車, 徒歩15分)

- 演題: 1. 位相変調粗面干渉法による変形・振動の自動解析 中橋末三 (理研)
2. 車室内形状測定器の開発
杉山 聡 (豊田中研)
3. 見学 理研の光計測関連実験室

問合先: 〒351 埼玉県和光市広沢 2-1

理化学研究所光学計測研究室 山口一郎

電話 0484-62-1111 内線 3242

○第2回屈折調節研究会ご案内

昨年の第1回研究会は、眼科のみならず理工学、文学方面やメーカーからの広範囲にわたる100名以上の参加者があり、18題の一般演題と Dr. Shepard による特別講演を盛況のうちに終了いたしました。本年も第2回研究会を第49回中部眼科学会のグループディスカッションとして開催いたします。多数のご参加を期待いたします。

日時: 昭和58年11月11日 (金) 9:00~17:00

場所: 岐阜市町村会館

参加費: 2,000円 (抄録, プリント代含む)

演題募集

1. 演題締切: 昭和58年8月20日 (土) 必着
2. 申込方法: 400字以内 (B5判原稿用紙) の抄録を下記, 演題送付先までお送りください。連名の場合は演者に○印をつけること。

3. 講演時間: 10分, 討論5分 (予定)

4. プロジェクター: 1台のみ

演題送付先および問合先:

〒634 奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学眼科学教室内

第2回屈折調節研究会

電話 07442-2-3051

代表世話人 中尾圭一 内線 3433

世話係 魚里 博 内線 2332

○ 新入会員

会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属
A 1844	中島 良雄	日立生産技研図書室	1282	今井 正明	北海道大学
1845	今野 邦男	日本光学研究所	1283	東浦 一雄	日東光学
1846	高橋 俊光	ブ ロ ニ カ(株)	(A-1744ヨリ)		
1847	殿村 洋文	星野女子高等学校	1284	杉山 聰	豊田中央研究所
1848	石黒 敏哉	富岡光学(株)	(A-1529ヨリ)		
1849	吉川 淳	大日本スクリーン製造(株)	1285	安達 正明	兵庫県立工業試験所
1850	吉野 洋一	千葉県機械金属研究所	1286	戸田 重郎	大日本印刷中央研究所
(B-1050ヨリ)			1287	小林 輝夫	日本コロムビア(株)
1851	長谷川和子	キヤノン(株)中央研究所	1288	岩永 敦	東北アルプス(株)古川工場
1852	畑川 政勝	大阪市立大学・医・附属病院	1289	有田孝一郎	ダイセル化学工業総合研究所
(B-1278ヨリ)			1290	内田 裕	明治大学
1853	中村 聡美	東京理科大学	1291	中山 雄三	ウエスト電気(株)
1854	土井 譲	旭光学工業(株)	1292	川元 憲二	(株)デルファイ
(B-925ヨリ)			1293	中村 滋	日立中央研究所
B 1277	松生 秀正	愛知県工業技術センター	1294	前田 武志	同上
1278	(Aへ移籍)		1295	三浦トキワ	明治大学
1279	加藤 裕司	日本電気(株)光エレクトロニクス研	1296	格内 敏	姫路工業大学
1280	小菅 和弘	同上	(A-1528ヨリ)		
1281	(Aへ移籍)		1297	奈良 誠	計量研究所
			(A-1854ヨリ)		

正 誤 表

第12巻第1号 63 ページ書評中、書名に「応用工学Ⅱ」とあるのは「応用光学Ⅱ」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編 集 後 記

本誌に初めて登場する東北特集号をここにお届けする。当初、編集委員会から東北地方における光学関連の研究および産業について全般的に紹介することを要望された。基本的には担当編集委員としても同じ考えであったが、短期間に十分に網羅した調査、編集を行なうことは困難であるので、東北各地のなるべく多数の研究者に執筆依頼や投稿をお願いして同等の効果を得ることに企画目標をおいた。東北地方には基礎開発部門を持った企業や工場が極端に少ないうえに、大学における研究はおおむね物性関係に重心が移っているように見受けられ、分光関係を除くと光学という通常のカテゴリーの研究者はあまりいない。したがって本号の企画に当たっては、掲載テーマを大学を中心とした光学周辺の研究にまで拡大して設定することにした。従来の本誌に比べてこの特集号の内容がやや特異な感じがあるとなれば、そこに原因があるといえる。

光学に関連する種々の研究分野から、一般投稿論文を含めて、解説、最近の技術から、サロンへと各種の原稿が寄せられた。これらの多様な内容から、東北における光学関連分野の研究開発の現状を知っていただけるものと思う。また、僭越な言い方をお許しいただければ、本特集号を、将来光学懇話会のいっそうの発展に伴って光学周辺のさまざまな研究領域までを新たに包含するようにした場合の会誌の一例と見做して参考にさせていただければ幸いです。

編集委員を引き受けて直ちに本号の編集を担当したため当惑することが多かった。幸い、編集者側の注文に対する執筆者諸氏の積極的なご協力と、企画段階での波岡武教授の貴重なご助言とに支えられ、不十分ではあるが何とか重責を果たすことができた。もちろん、本誌の西田編集委員長をはじめ編集委員諸氏のはじめての東北特集号を生み出すための通常以上のご尽力とご協力に負うところも大きい。ここに各位に厚く御礼申し上げる次第です。

(稲場, 上西)